

霧島火山防災の心得

見やすいところに貼っておきましょう。

霧島火山の主な噴火活動

6,000年前～有史以前の間が発生した火山活動による溶岩流の分布と噴出物の堆積図



788年(延暦7年)の噴火による御鉢火山の溶岩流の分布と噴出物の堆積図



1716-1717年(享保1-2年)の噴火による新燃岳火砕流と噴出物の堆積図



1959年(昭和34年)の新燃岳水蒸気爆発による火山灰の降灰状況



※cmは現在確認できる噴出物の層の厚さを示す。
この図は、資料に基づき作成した霧島火山の活動記録であり、今後予想される噴火の規模、溶岩流、火砕流等の危険予想図とは異なります。
参考資料
霧島火山群高千穂複合火山の噴火活動史(井ノ上、1988)
霧島火山群新燃岳の最近300年間の噴火活動(井村・小林、1991)
霧島火山砂防基本計画
高原町「新燃岳噴火による災害関係記録」

日ごろの心がまえ

- まず、常日ごろから地域や家庭でいざという時の話し合いをしておく。
- 非常持ち出し品の確認をしておく。
- 家族や隣り近所で避難経路や避難先等を確認しておく。
- テレビ、ラジオ等の火山情報や注意事項をよく聞く。
- 家畜等の収容先を親戚、友人等をお願いしておく。

いざという時の心がまえ

- まず、災害対策本部(高原町)の指示に従う。
- 避難は、老人、病弱者、幼児を第一に。
- 避難は、ヘルメット等を着用する。
- デマ等にまどわされず正しい情報で行動する。



霧島火山噴火災害における指定避難場所

避難地域	避難場所	収容人員(人)
第一次収容先	高原小学校体育館	1,000
	高原中学校体育館	700
	町民体育館	500
	町民体育館分館	800
	高原畜産高等学校体育館	800
小計(5体育館)		3,800
第二次収容先	広原小学校体育館	500
	後川内小学校体育館	300
	後川内中学校体育館	400
小計(3体育館)		1,200
合計		5,000

※ 避難指示については、上記8行政区の班を単位として順次地区指定を行い、その避難者の数に応じて第1次、第2次の避難場所を開設します。



霧島火山噴火に備えて異常現象はすぐ通報を!

連絡先 高原町役場総務課
(☎0984-42-2111)

高 原 町